



市立札幌旭丘高等学校

# 学校案内 2027

SAPPORO ASAHIGAOKA

旭丘高校は2028年に**70**周年を迎えます

[単位制による全日制課程]

募集  
人員

普通科:240名(40名×6クラス)

数理データサイエンス科:80名(40名×2クラス)

# 校長からのメッセージ

## 来たれ！ この坂に

### 市民の期待（スクール・ミッション）

- 未来社会を切り拓くための知識や技能、学び方を習得し、それらを自らの生き方や社会に活かす力を育成する学びの場
- 高く理想を掲げ、豊かな見識や感性、科学的な見方により、他者と協働して社会の発展に貢献できる人材を育成する学びの場

学校長 尾崎 茂樹

旭丘は、一人でも多くの未来を生きる若者に、高校で学ぶ機会を保障したいという、地域の保護者をはじめとした市民の熱い運動の末、**1958年**に、札幌市立初の全日制普通科高校として誕生しました。以来、市民の期待に応える「**格調の高い学問の場所**」として、教師も生徒も一体となってハイレベルの探究的な学びを展開し、60年以上にわたり、一貫して、社会の発展に貢献する有為な卒業生を輩出してきました。

この間、時代の変化とともに、市民の高校に対する期待も多様化する中、創立40周年を迎えた**1998年**には、自らの使命を改めて問い直し、「**自主・自立**」の精神の下、現状に甘んじることなく、常に一歩先を目指して挑戦し続ける旭丘生の精神的支柱として、**道しるべ「この坂 越えん」**を制定しました。

一方、これら不変の理念を支える学びの環境やシステムについては、時代を先取りする大胆な改革に取り組み、常識を覆すオープン型新校舎を建設するとともに、**2004年**、道内初の「**進学重視型単位制**」へと移行しました。単位制とは、自らの意思で、アラカルト的に学びをコーディネートすることを特徴としたシステムであり、学年制という定食的な学びに飽き足りない個性をもった若者にとっては、魅力的な選択肢となりました。そんな旭丘生は、実に個性豊かで、興味・関心の幅も多様です。与えられるものをじっと待つのではなく、常に、自ら一歩前に踏み出し、自分に必要なものや欲しいものをつかみ取っていく学校生活を送っています。

**2022年**には、**数理データサイエンス科**を新設し、翌年の**2023年**には文部科学省よりSSHの指定を受け、より幅の広い若者の個性を受け止めるとともに、次なる未来社会Society5.0に求められる人材育成にも応えうる学校へとさらなる進化を遂げています。

そう、ガオカは、普通の高校生活ではなく、唯一無二の私自身の高校生活を送ることができる学校なのです。このガオカに憧れを持ち、この坂を越えた景色を見たいと思っている若者よ「**来たれ この坂に**」

# 市民との約束

## 学校教育目標

生徒の自主・自立を支援し、生涯にわたって学び続け、社会に貢献する人間の育成を目指す

【育てたい生徒像】

- (1) 獲得した知識や技能を活用し、論理的・科学的考察によって真理を探究する生徒
- (2) 高い志を持ち、文化を創造し社会に貢献する意識を持つ生徒
- (3) 心身の健康を維持増進し、活力ある生活を送る生徒



## スクール・ポリシー

このような生徒を求めています（アドミッション・ポリシー）

### 普通科

単位制の趣旨を理解し、本校で学ぼうとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒

- 1 知的好奇心にあふれ、本校での学校生活全般に高い意欲を有する生徒
- 2 社会性や責任感を伴った、積極的・主体的な行動力を身に付けることを目指す生徒
- 3 豊かな発想力をもち、高校で身に付けた資質・能力を活かして、社会・世界で活躍することを目指す生徒

### 数理データサイエンス科

数理データサイエンス科の理念を理解し、本校で学ぼうとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒

- 1 知的好奇心にあふれ、科学への関心が高く、将来にわたり探究し続けることを目指す生徒
- 2 理数分野を中心とした幅広い教養と情報活用能力を身に付け、札幌や世界の諸課題に取り組もうとする生徒
- 3 未知の分野に果敢に挑戦する気概をもち、仲間とともに未来志向の議論や発信をする意欲を有する生徒

何をどのように学ぶか？【カリキュラム・ポリシー】

- 1 生徒の興味・関心や進路希望に柔軟に対応した単位制教育課程の編成と実施
- 2 生徒の理解度や習熟度にきめ細かに対応した単位制教育課程の編成と実施
- 3 生徒の主体的・意欲的な探究活動を促し、「自主・自立」を育てる単位制教育課程の編成と実施

何ができるようになるか？【グラデュエーション・ポリシー】

- 1 前に踏み出す力
  - ・主体性－自身の考えに基づき、「判断・行動する力」を身に付けます
  - ・探究心－高い志を持ち、「学び続ける力」を養います
  - ・貢献心－高く理想を掲げ、社会で「役に立ちたい」気持ちを育みます
- 2 考え抜く力
  - ・思考力－物事を多角的に捉え、「気付き力」を鍛えます
  - ・創造力－常識にとらわれない発想や工夫で、「新しい価値を生み出す力」を鍛えます
  - ・想像力－いろいろな視点から具体的にイメージし、「表現する力」を鍛えます
- 3 チームワーク
  - ・協働性－発信力・傾聴力を磨き、「力を合わせてともに活動する力」を身に付けます
  - ・しなやかさ－困難に負けない弾力のある「心」や仲間と喜び合える豊かな「心」を育みます
- 4 全ての基礎となる心身の健康
  - ・健やかさ－自己を確立し、心身ともに健康的な生活を送る態度を育みます

沿革

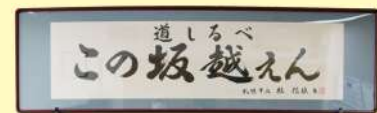
## 1958

母の願い・市民運動の末に開校



## 1998

創立40周年を機に道しるべ制定



校舎へとつながる「坂」をキーワードとし、本校の理念を体現するための日常生活の指針、ひいては人生を生きる上での精神的支柱として、在学中はもとより卒業後も永く心に生き続ける言葉です。

## 2004

道内初、進学重視型単位制へ移行

単位制とは、学年ごとに決められた教育課程ではなく、自らの興味・関心や進路希望に応じて授業を選択できる柔軟なシステム。大学進学がゴールではなく、生涯にわたって主体的に学び続ける資質・能力の育成を大切にしています。

## 2022

数理データサイエンス科新設

来るべき未来社会Society 5.0では、様々な分野でビッグデータを活用して活躍するデータサイエンティストが求められています。このような社会の要請に応え、高校時代にハイレベルの理数と情報を中心に学ぶ理数系の専門学科として新設。

## 2023

文部科学省よりSSH校へ指定

SSH指定校では、未来社会を牽引する科学技術人材の育成が期待されています。本校は、数理データサイエンス教育と各教科が連携した課題探究的な学習に、普通科も含め、全ての生徒が取り組むことで、社会に貢献する人材を育成します。

## 2024

姉妹校提携

2024年12月20日にタイ王国ピッサヌローク州の理数教育を重視する王女立の全寮制中高一貫校である、プリンセス・チュラポー・サイエンス・ハイスクール・ピッサヌローク校とMOU(国際交流協定)を締結しました。



Princess Chulabhorn Science High School Phitsanulok

SSH指定校では、各校で作成した計画に基づき、独自のカリキュラムによる授業の展開や、大学・研究機関との連携による授業、地域の特色を活かした課題研究などに積極的に取り組み、普段の高校生活では出会えない人との出会い、交流、研修による体験、発表等を行っています。

## SSH (スーパーサイエンスハイスクール) とは

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。(令和8年度は全国で233校)

## 本校の取組 …令和5年にSSH校に指定され、今年で4年目になります。

**目的：**Society 5.0時代をリードする「情報活用力」と理数分野を中心とした幅広い教養を併せ持つ人材を育成する。

1. 課題研究、探究的な学習活動：SDS基礎・SDS探究・SDS発展（数理データサイエンス科）
2. 理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発：理数理科・SS統計学等（数理データサイエンス科）
3. 大学や企業、研究機関等と連携した先進的な理数教育：サイエンスアカデミー・道外研修
4. 国際性を育てるために英語でのポスター発表等：海外研修
5. 各種発表会

## 令和5～7年度の取組

### 課題研究

#### SDS基礎 | 数理データサイエンス科1年次

前期では、実際にオープンデータを取り扱った活動を通じて、データの収集や見方、加工方法の基礎を学びます。後期では、データサイエンスの基礎とPPDACサイクルを身に付け、課題発見力・データ収集力・データ分析力を習得します。



#### SDS探究 | 数理データサイエンス科2年次

「SDS基礎」で培った基礎力を活用し、自分たちの主体的興味・関心から進める課題探究を通じて、「気付く力」「思考する力」「発信する力」を伸ばします。令和6年度は全18グループが大学・博物館・企業の専門家と接触し連携し、探究活動を楽しんでいました。



### 学校設定科目

#### 学校設定科目「SS統計学」数理データサイエンス科2年次

「SDS探究」において必要とされる統計的な課題分析力や課題考察力を効果的に育成するために設定した本校オリジナル科目です。統計の知識・技能を活用しながら効果的に課題分析力や課題考察力を高めます。



▲「SS統計学」では40名の生徒を4名の教員でチームティーチングしています

#### 学校設定科目「理数理科」数理データサイエンス科1年次

物理・化学・生物・地学の科目横断的な学習を、データサイエンスの手法を取り入れながら行うことで、俯瞰的視点で自然科学を捉え理解する力を育成します。写真は、令和6年度に行われた理数理科の授業の1コマです。



▲大阪教育大学科学教育センター 仲矢史雄教授による特別授業

### 各種発表会

#### つくばScience Edge 2025 (2025.3.27～28/つくば)

▶オーラル推奨賞 (Global Link Singapore2025参加権)

#### Global Link Singapore2025 (2025.7.26～28/シンガポール)

▶日本代表の1チームとして参加

#### 令和7年度SSH生徒研究発表会 (2025.8.6～7/神戸)

▶生徒投票賞

SSH生徒研究発表会は、日本全国のSSH指定校等の代表生徒が集結し、日頃の課題研究の成果を発表するイベントです。生徒投票賞は、SSH指定校及び過去に指定経験のある学校から、現地に参集した各校の生徒による投票を経て、10校程度に授与される賞です。

「つくばScience Edge」は、授業の課題研究やクラブ活動で取り組んだ研究をもとにした、科学に関する「アイデア」を発表する場です。オーラル推奨賞は、応募した全チームの中のベスト8に選出されたチームに贈られる賞で、シンガポールで行われるGlobal Link Singaporeの推薦権が授与されます。



#### ST・SDS・SSH研究発表会 (2026.2.3)

1,2年次640名、他校生120名が参加し、オーラル発表81件、ポスター発表53件のほかに、タイ・台湾の高校生とオンラインでの研究交流会も実施しました。



#### イノベーションサイエンスフェスタ (2026.1.27)

SSH校である大阪医科薬科大学高槻高等学校主催の合同研究発表会です。沖縄科学技術大学院大学(OIST)などの最先端研究環境で、英語での研究発表とディスカッションを行いました。この他、道内SSH校とも共同研究や発表会で交流を行っています。



#### SSH講演会

講師：国立科学博物館館長・篠田謙一氏 (本校14期生)

本校SSHでは「サイエンスは理系文系を問わず学ぶべきものであり、在学中も卒業後も常にサイエンスに興味・関心を持ってもらいたい」との想いから、全校生徒を対象にSSH講演会を実施しています。



▲令和7年度ST・SDS・SSH研究発表会基調講演

### ・大学や企業、研究機関等との連携

### ・道外研修

※道外研修の時期・研修先は今後変更となる場合があります。

#### SSH道外研修「つくば・神戸プログラム」夏季休業中

令和7年度は、国立科学博物館、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、筑波実験植物園、筑波宇宙センター、防災科学技術センター、産業技術総合研究所等のつくば方面の研修に加え、神戸に移動しSSH生徒研究発表会で、全国のSSH各校の代表発表を見学しました。



▲JAXA筑波宇宙センターにて撮影

#### 令和6年度 第2回 Sunrise café

講師：大阪教育大学科学教育センター 仲矢史雄氏

Sunrise caféは放課後を利用した講演会です。日本や世界の第一線で活躍している研究者の講演を聴くことで、理工系領域を志す生徒が増加することを目的に年に5回程度実施しています。



▲モデル構築教材「Black Box」を使ったワークショップ

#### SSH道外研修「屋久島プログラム」沖縄プログラムと隔年実施

令和8年度は、白谷雲水峡トレッキング、屋久島世界遺産センター研修に加えて、「地質巡検」「磯の生物調査」のコース別研修では専門家の指導の下、データ解析を実施し、フィールドワークで得た生の情報を科学的なエビデンスに昇華させるプロセスを学ぶ計画です。



▲屋久島にて撮影

# 国際交流プログラム

## 多様性に触れ、視野を地球レベルに広げよう

旭丘では語学力の向上のみならず、視野を広げ地球規模で活躍できる人材になることを願って国際交流プログラムを実施しています。2004年に始まったアメリカ合衆国ジョージア州アトランタにあるホーリー・イノセンツ・エписコパル校 (HIES) との「姉妹校交流」と「海外語学研修」のプログラムを交互に隔年で実施しています。また札幌市立高校共通のプログラムとしてアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市にあるグラント高校との交流プログラムを毎年実施してきました。令和5年度からプログラムを再開しています。

### ■ 姉妹校交流

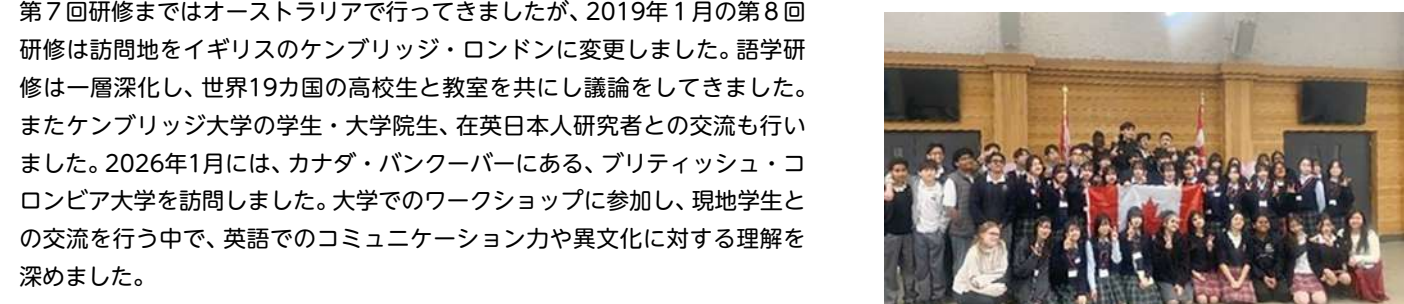
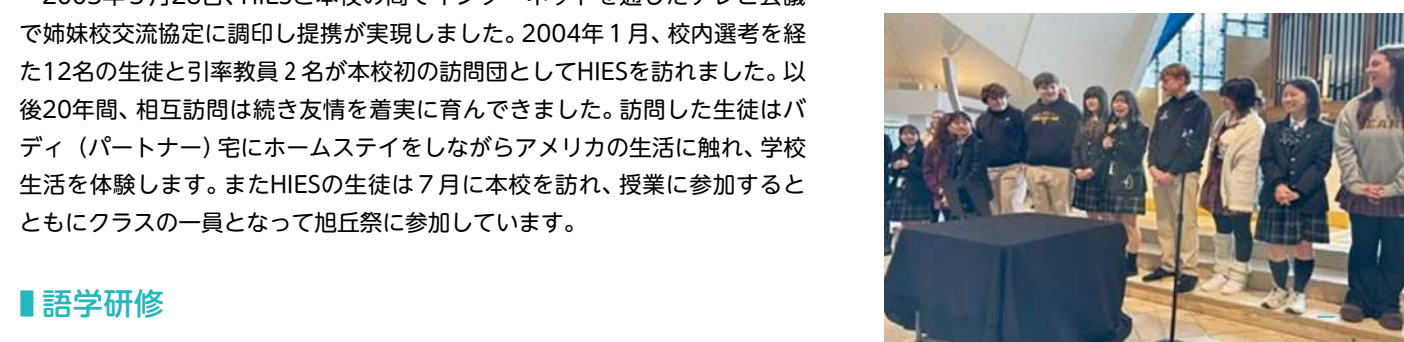
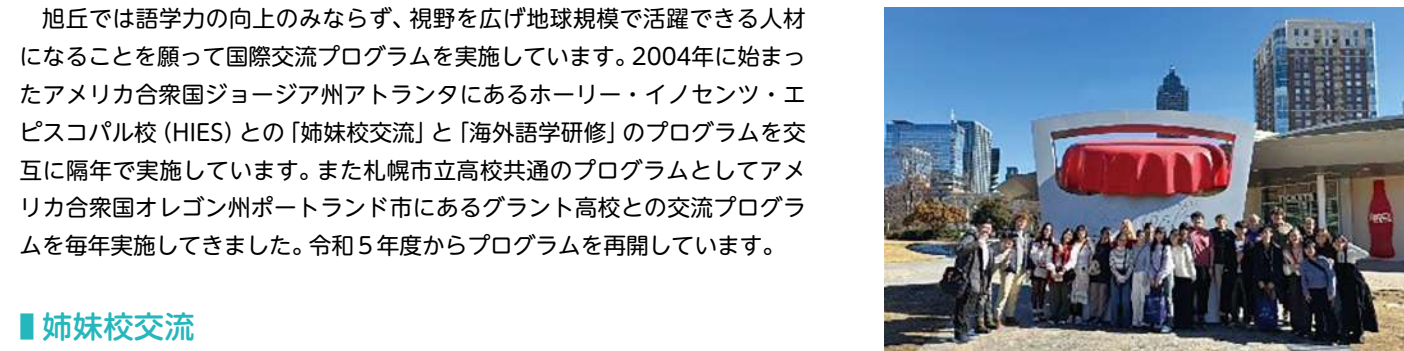
2003年3月28日、HIESと本校の間でインターネットを通じたテレビ会議で姉妹校交流協定に調印し提携が実現しました。2004年1月、校内選考を経た12名の生徒と引率教員2名が本校初の訪問団としてHIESを訪れました。以後20年間で、相互訪問は続き友情を着実に育んできました。訪問した生徒はバディ (パートナー) 宅にホームステイをしながらアメリカの生活に触れ、学校生活を体験します。またHIESの生徒は7月に本校を訪れ、授業に参加するとともにクラスの一員となって旭丘祭に参加しています。

### ■ 語学研修

本校では2005年から隔年で語学研修を実施してきました。2017年1月の第7回研修まではオーストラリアで行ってきましたが、2019年1月の第8回研修は訪問地をイギリスのケンブリッジ・ロンドンに変更しました。語学研修は一層深化し、世界19カ国の高校生と教室を共にし議論をしてきました。またケンブリッジ大学の学生・大学院生、在英日本人研究者との交流も行いました。2026年1月には、カナダ・バンクーバーにある、プリティッシュ・コロンビア大学を訪問しました。大学でのワークショップに参加し、現地学生との交流を行う中で、英語でのコミュニケーション力や異文化に対する理解を深めました。

### ■ ポートランド市グラント高校交流 (札幌市立高校共通事業)

ポートランド市グラント高校は、日本語で教科の授業を行うイメージョン教育を実施しています。毎年7月上旬、2名から8名の生徒が来校し授業に参加します。3月には校内選考を経た2名程度の生徒が現地を訪れグラント校の授業に加わります。アメリカの文化を体験し自国の文化を捉えなおす貴重な経験となります。



令和6年度姉妹校交流 (左2枚)・令和7年度カナダ語学研修の様子 (右2枚)



何を学ぶか・どのように学ぶか

# 普通科

## 単位制カリキュラム

### ● 1年次

基礎・基本を重視した必履修必修得科目を中心とした学習に取り組みます。

入学時に選択する芸術科目以外は、全員が同じ科目の授業を受講し、学習習慣をしっかりと確立します。

### ● 2年次・3年次

本校では皆さんの多様な興味・関心や進路希望実現に応えるために多くの選択科目を用意しています。

ガイダンス担任・ゼミ担任のサポートを受けながら自分で受講講座を選択していきます。

生徒自身が自分をしっかり見つめ、各教科・科目を自分に合ったバランスで学習できるようサポートします。

基礎・基本を  
身に付ける科目

学んだことを  
深化させる科目

専門的な研究に  
対応した  
特色ある科目

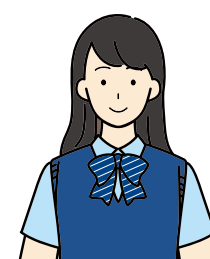
|     | 1     | 2 | 3    | 4 | 5 | 6    | 7 | 8 | 9  | 10 | 11  | 12 | 13  | 14 | 15   | 16 | 17   | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  | 31  | 32  | 33  | 34  | 35  |     |
|-----|-------|---|------|---|---|------|---|---|----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1年次 | 現代の国語 |   | 言語文化 |   |   | 歴史総合 |   |   | 公共 |    | 数学Ⅰ |    | 数学A |    | 化学基礎 |    | 生物基礎 |    | 体育 |    | 保健 | 書道 | 美術 | 音楽 |    | 英語Ⅰ | 英語Ⅱ | 英語Ⅲ | 英語Ⅳ | 英語Ⅴ | 英語Ⅵ | 英語Ⅶ | 英語Ⅷ | 英語Ⅷ | 英語Ⅸ | 英語Ⅹ |
| 単位数 | 2     |   | 3    |   |   | 3    |   |   | 2  |    | 4   |    | 2   |    | 2    |    | 2    |    | 2  |    | 1  |    | 2  |    | 4  |     | 2   |     | 2   |     | 2   |     | 1   |     |     |     |

|             | 1                | 2 | 3                | 4                | 5 | 6      | 7      | 8                | 9 | 10               | 11 | 12               | 13 | 14 | 15 | 16                | 17          | 18          | 19          | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35                         |             |
|-------------|------------------|---|------------------|------------------|---|--------|--------|------------------|---|------------------|----|------------------|----|----|----|-------------------|-------------|-------------|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------------------------|-------------|
| 2<br>年<br>次 | 地<br>理<br>総<br>合 |   | 地<br>理<br>基<br>礎 | 物<br>理<br>基<br>礎 |   | 体<br>育 | 保<br>健 | 家<br>庭<br>基<br>礎 |   | 論<br>理<br>国<br>語 |    | 古<br>典<br>探<br>究 |    |    |    |                   | Ⅱ<br>英<br>語 | Ⅲ<br>英<br>語 | Ⅳ<br>英<br>語 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 総<br>合<br>的<br>な<br>探<br>究 | L<br>H<br>R |
| 単<br>位<br>数 | 2                |   | 2                |                  | 2 |        | 1      | 2                |   |                  |    |                  |    |    |    | 24単位まで（うち必選択10単位） |             |             |             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 1                          |             |

|             | 1              | 2 | 3 | 4                          | 5 | 6 | 7 | 8        | 9 | 10       | 11               | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |  |  |        |
|-------------|----------------|---|---|----------------------------|---|---|---|----------|---|----------|------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--------|
| 3<br>年<br>次 | 体<br><br><br>育 |   |   | 英語<br>Ⅲ<br>コミュニケーション<br>英語 |   |   |   | 論理<br>国語 |   | 選択科目群Ⅰ・Ⅱ |                  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  | 総合的な探究 |
| 単位数         | 3              |   |   |                            |   |   |   |          |   |          | 30単位まで（うち必選択5単位） |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |        |

### ■ 時間割の例

普通科2年 Aさん



私には小学生の頃から医師として病に苦しむ小さな子どもたちを助けたいという夢があり、医学部への進学を志望しています。理科は「生物基礎」はもちろん、2年次から「生物」「化学」を履修して、より専門的で深い内容を学習しています。また「数学Ⅱ」「数学B」ではレベルの高い問題までを扱う応用クラスの授業で数学の力を積極的に伸ばし、3年次では「数学Ⅲ」を履修予定です。

|     | 月            | 火            | 水      | 木            | 金            |
|-----|--------------|--------------|--------|--------------|--------------|
| 1校時 | 物理基礎         | SS数学Ⅱ        | SS数学Ⅱ  | 地理総合         | 英語コミュニケーションⅡ |
| 2校時 | SS数学Ⅱ        | SS物理         | SS数学B  | 世界史探究        | 論理国語         |
| 3校時 | 保健           | 家庭基礎         | 論理・表現Ⅱ | 古典探究         | 体育           |
| 4校時 | 古典探究         | 家庭基礎         | 古典探究   | 英語コミュニケーションⅡ | 体育           |
| 5校時 | 英語コミュニケーションⅡ | 英語コミュニケーションⅡ | SS化学   | SS数学Ⅱ        | SS化学         |
| 6校時 | 論理・表現Ⅱ       | 古典探究         | 論理国語   | 物理基礎         | SS物理         |
| 7校時 | 世界史探究        | 地理総合         | LHR    | 文化ゼミ         | SS数学B        |

## 「自主・自立」サポート①

### ■ 二人担任制

旭丘では「二人担任制」を取り入れています。生徒20名を1人の担任が受け持つことで生徒一人一人に対するきめ細やかな対応を実現しています。

### 1年次 ガイダンス担任

生徒の学習目標、科目選択、個人課題研究、そして進路決定にいたるまで、支援体制が確立されています。各年次ともに年間4回以上ガイダンスを通して生徒の「主体性」や「意欲」を高めていきます。

### 2・3年次 ゼミ担任

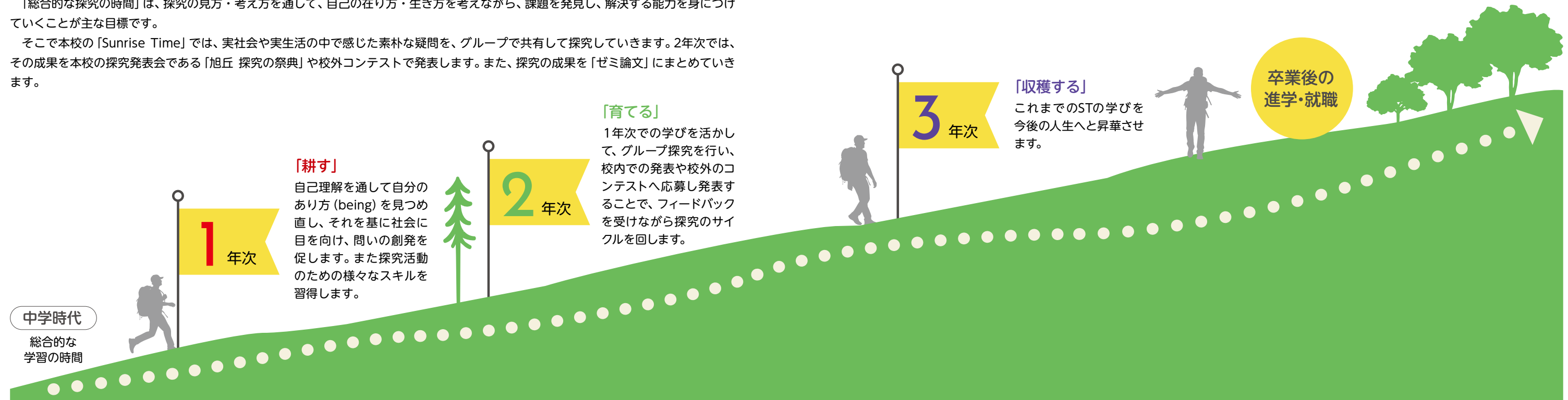
2、3年次のHRは「ゼミ」の集団で構成され、ゼミ担任は生徒20名を支援していきます。1年次同様に各種ガイダンスを行います。

## 旭丘の総合的な探究の時間とは？ 学びのエンジンとして駆動し、真の学習者へと生徒が成長する活動

旭丘高校普通科では「総合的な探究の時間」を「Sunrise Time」(通称ST)と呼んでいます。この名称には、本校の校歌の一節「昇る朝日の力あり」にちなみ、朝日のように輝いて明るい未来を照らし出す、そんな力を身につけてほしいという願いが込められています。

「総合的な探究の時間」は、探究の見方・考え方を通して、自己の在り方・生き方を考えながら、課題を発見し、解決する能力を身につけていくことが主な目標です。

そこで本校の「Sunrise Time」では、実社会や実生活の中で感じた素朴な疑問を、グループで共有して探究していきます。2年次では、その成果を本校の探究発表会である「旭丘 探究の祭典」や校外コンテストで発表します。また、探究の成果を「ゼミ論文」にまとめていきます。



1 年：宿泊研修



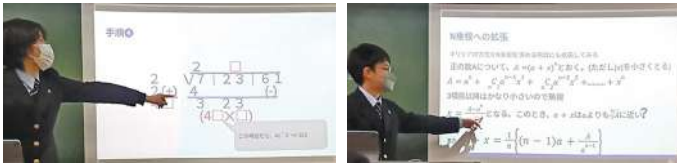
2 年：旭丘 探究の祭典



理数の専門的な授業

理数数学は“数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C”が横断的に含まれた科目です。理数理科は、探究的・発展的な内容、実験・演示を多く取り入れた科目で、「理数物理」、「理数化学」、「理数生物」を全員が学びます。

理数数学



班ごとに発展的なテーマを探究して発表します。この班は「開平法」について取り組みました。「教科書の開平方」に加えて「古代ギリシアの方法」「N乗根」について検証していきます。



数学Ⅰ「データの分析」で標準偏差や分散などを学習した後、Google スプレッドシートを使って統計量の計算にチャレンジします。

情報の専門的な授業

情報ⅠとSDS（サンライズデータサイエンス）という学校設定科目で、データサイエンスの基礎力や素養を身に付けます。

SDS基礎（1年次）

オープンデータを題材に、情報の収集・分析・考察・発表を行います。入門編として、札幌市10区の人口ピラミッドを作り、各区の特徴を分析しました。



「さっぽろ探究」では各班がテーマを決め、オープンデータを分析し学校内外で発表しました。



ポスターセッション (in旭丘高校)  
「札幌市の桜の開花予測」



北大サイエンスフェスタ (in地下歩行空間)  
「ホームゲームと勝利の関係を探る」



探究チャレンジ北海道 (in北大)  
「札幌の温暖化とゴキブリ」

単位制カリキュラム

- ・1・2年次は、必履修必修得科目を中心とした学習に取り組みます。
- ・専門学科“理数科”の履修科目に準じているため、理数理科3科目×3単位以上、理数理科+理数数学で25単位以上の修得が必要です。
- ・理科、数学、情報の内容が厚く、授業時数も多くなっています。
- ・「サンライズデータサイエンス (SDS)」で、データサイエンスの基本を身に付け、探究的な学習を行います。

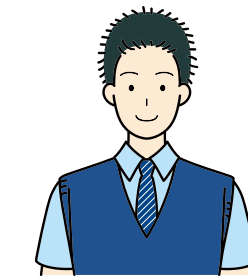
|             | 1         | 2 | 3        | 4 | 5        | 6 | 7      | 8 | 9         | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16       | 17 | 18       | 19 | 20       | 21 | 22     | 23 | 24     | 25     | 26     | 27     | 28 | 29                 | 30 | 31     | 32 | 33             | 34 | 35      |           |             |
|-------------|-----------|---|----------|---|----------|---|--------|---|-----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----------|----|----------|----|--------|----|--------|--------|--------|--------|----|--------------------|----|--------|----|----------------|----|---------|-----------|-------------|
| 1<br>年<br>次 | 現代の<br>国語 |   | 言語<br>文化 |   | 歴史<br>総合 |   | 公<br>共 |   | 理数<br>数学Ⅰ |    |    |    |    |    |    | 理数<br>物理 |    | 理数<br>化学 |    | 理数<br>生物 |    | 体<br>育 |    | 保<br>健 | 書<br>道 | 美<br>術 | 音<br>楽 |    | コ<br>ミュニ<br>ケーションⅠ |    | 英<br>語 |    | 論<br>理・表<br>現Ⅰ |    | 情<br>報Ⅰ | SDS<br>基礎 | L<br>H<br>R |
| 単<br>位<br>数 | 2         |   | 2        |   | 2        |   | 2      |   | 6         |    |    |    |    |    |    | 2        |    | 2        |    | 2        |    | 2      |    | 1      | 2      |        | 4      |    |                    | 2  |        | 2  |                | 1  | 1       |           |             |

|             | 1                | 2      | 3      | 4                | 5 | 6 | 7 | 8                     | 9 | 10                    | 11 | 12               | 13               | 14 | 15 | 16 | 17               | 18 | 19 | 20               | 21 | 22               | 23 | 24 | 25                                   | 26     | 27 | 28 | 29                           | 30 | 31                    | 32 | 33          | 34                                                  | 35 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------|------------------|--------|--------|------------------|---|---|---|-----------------------|---|-----------------------|----|------------------|------------------|----|----|----|------------------|----|----|------------------|----|------------------|----|----|--------------------------------------|--------|----|----|------------------------------|----|-----------------------|----|-------------|-----------------------------------------------------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 2<br>年<br>次 | 地<br>理<br>総<br>合 | 保<br>健 | 体<br>育 | 家<br>庭<br>基<br>礎 |   |   |   | 理<br>数<br>数<br>学<br>Ⅱ |   | S<br>S<br>統<br>計<br>学 |    | 理<br>数<br>物<br>理 | 理<br>数<br>生<br>物 |    |    |    | 理<br>数<br>化<br>学 |    |    | 論<br>理<br>国<br>語 |    | 古<br>典<br>探<br>究 |    |    | コ<br>ミ<br>ニ<br>ケ<br>シ<br>ョ<br>ン<br>Ⅱ | 英<br>語 |    |    | 選<br>択<br>科<br>目<br>群<br>Ⅰ・Ⅱ |    | S<br>D<br>S<br>探<br>究 |    | L<br>H<br>R |                                                     |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|             |                  |        |        |                  |   |   |   |                       |   |                       |    |                  |                  |    |    |    |                  |    |    |                  |    |                  |    |    |                                      |        |    |    |                              |    |                       |    |             | 理<br>数<br>物<br>理<br>ま<br>た<br>は<br>理<br>数<br>生<br>物 |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|     | 1 | 2  | 3 | 4 | 5 | 6 | 7      | 8 | 9     | 10 | 11   | 12 | 13   | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34    | 35  |
|-----|---|----|---|---|---|---|--------|---|-------|----|------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-----|
| 3年次 |   | 体育 |   |   |   |   | 英語・表現Ⅲ |   | 理数化学Ⅰ |    | 論理国語 |    | 古典探究 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | SDS発展 | LHR |
| 単位数 |   | 3  |   |   |   |   |        |   |       |    |      |    |      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 1     | 1   |

時間割の例

数理DS科3年 Sさん



私は将来SE（システムエンジニア）になりたいと考え、情報科学系の大学への進学を目指しています。普通科に比べて理数科目の内容がより深いので、知識の習得や技能の習熟を図り、それらを活用する力を伸ばせるよう積極的に取り組んでいます。また、SEの仕事はシステムの開発だけでなく、顧客のニーズを分析することも必要だと知ったので、2年次までに学んだデータサイエンスの基本を応用し、3年次「SDS発展」の探究活動にも力を入れています。

|     | 月      | 火            | 水            | 木            | 金            |
|-----|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1校時 | 英作文探究  | 理数物理         | 理数化学         | 論理国語         | 英語コミュニケーションⅢ |
| 2校時 | 古典探究   | 理数数学Ⅱ        | 理数物理         | 理数数学特論       | 理数物理         |
| 3校時 | 政治・経済  | プログラミング演習    | 英語コミュニケーションⅢ | 理数物理         | 理数化学         |
| 4校時 | 体育     | 論理国語         | 理数数学特論       | 理数物理         | プログラミング演習    |
| 5校時 | 理数数学Ⅱ  | 理数数学特論       | 理数数学Ⅱ        | 政治・経済        | 体育           |
| 6校時 | 理数数学特論 | 英語コミュニケーションⅢ | 英作文探究        | 英語コミュニケーションⅢ | 体育           |
| 7校時 | 理数物理   | SDS発展        | LHR          | 古典探究         | 理数数学Ⅱ        |

※教科「理数・情報・SDS・SSH」に関わる科目に色を付けています。

「自主・自立」サポート②

オープンな職員室

旭丘の職員室は壁なしのオープンスペース。すべての教員が常駐しています。勉強や進路について、いつでも質問できます。また保護者の皆さんからの各種相談に応じられる体制をとっています。遠慮なく職員室を訪れてください。



3年間でどんなことを学び、体験するのか

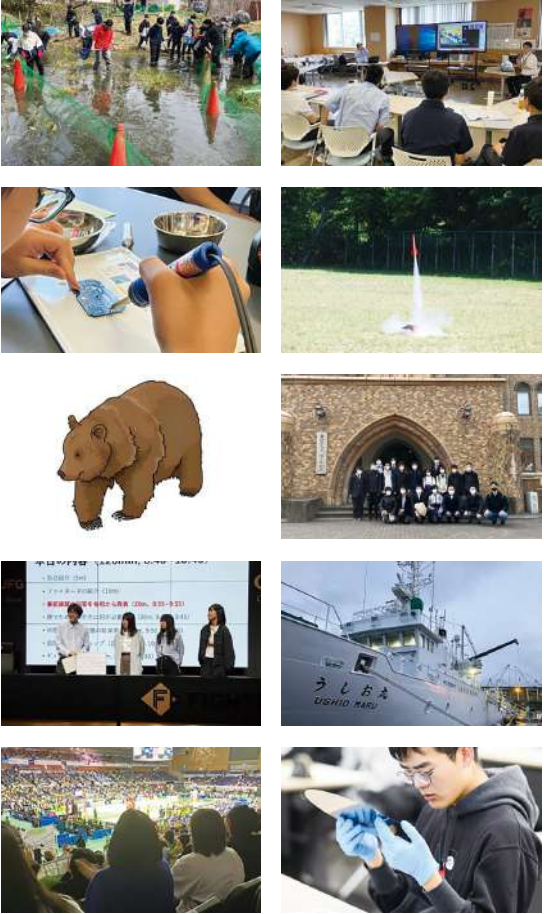
■3年間の流れ ～ SDSと校外学習～

| 年  | 1年次                                       |                                                        | 2年次                            |                                           | 3年次                                                               |                                                        |
|----|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 月  | SDS 基礎                                    | 校外学習                                                   | SDS 探究                         | 校外学習                                      | SDS 発展                                                            | 校外学習                                                   |
| 4  | データサイエンスの基礎                               | サイエンスアカデミー                                             | 研究テーマ発表会                       | サイエンスアカデミー                                | 論文作成                                                              | コンクールへ論文出品<br>●大学での学びへつなげる論文作成<br>●研究の継承<br>(下級生/小中学生) |
| 5  |                                           | 他校の校外学習<br>(開成中等教育学校など)                                | 研究活動<br>※班ごとにテーマを決め<br>1年間研究する | 校外での調査・研究                                 | 大学での学びへの接続<br>●総合選抜型入試の対策<br>●研究者、研究室調査<br>●大学研究<br>●推薦書、面接、小論文など |                                                        |
| 6  |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 7  |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 8  | さっぽろ探究<br>●探究活動<br>●プレゼンスキルUP講座<br>●プレ発表会 | 校外発表会<br>●サイエンス教育フォーラム in<br>はこだて<br>●サイエンスフェスタ in チカホ | ●プレゼン準備<br>●プレ発表会<br>●外部への発表   | 修学旅行(関東方面)<br>東京国立科学博物館<br>未来ロボット技術研究センター |                                                                   |                                                        |
| 9  |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 10 |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 11 | 校内発表会                                     |                                                        | 校内発表会                          | 校外発表会                                     | 共通テスト<br>個別試験(国公立大学・私立大学)                                         |                                                        |
| 12 |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 1  |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |
| 2  | 2年次の研究計画                                  |                                                        | 論文作成開始                         |                                           |                                                                   |                                                        |
| 3  |                                           |                                                        |                                |                                           |                                                                   |                                                        |

学校を飛びだした学びの場「サイエンスアカデミー」

■2026 サイエンスアカデミーの講座一覧

| タイトル／内容                                                                                                                                  | 協力機関                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 【ドローンショープログラミング】<br>調査、研究、モビリティ、ビジネス、エンターテインメント。活用が広がるドローン技術を学び、飛ばしてみよう。                                                                 | メディアネットコーポレーション                  |
| 【サイバーセキュリティを学ぶ】（保護者参加企画）<br>サイバー犯罪やサイバー攻撃の実態とセキュリティの基礎知識を学び、デモンストラーションを見学して理解を深める。                                                       | 北海道警察<br>サイバーセキュリティ対策本部          |
| 【ゲームを作ろう】（学校祭来場者参加企画）<br>はんだを使って配線をつなぎ“ミンティア”サイズのミニゲームを製作しよう。学校祭に来場する小中学生向けの工作教室も実施。                                                     | NPO法人<br>NEXTDAY                 |
| 【室蘭工大ロケットスタディツアー】<br>室蘭工業大学に出向き「モデルロケットの製作」と「打ち上げ」を体験します。高校生のうちに少し宇宙に近づいてみよう！                                                            | 室蘭工業大学<br>航空宇宙機システム研究センター        |
| 【私たちとヒグマのこれから】<br>人間がクマに襲われる事故が全国各地で頻発している。円山動物園での研修を通して私たちとヒグマの共存について考えます。                                                              | 道立総合研究機構<br>円山動物園                |
| 【スポーツとデータサイエンス】(他校生参加企画)<br>データサイエンティストに野球データの分析方法を学び、エスコンフィールド内で課題発表を行います。                                                              | 日本ハム<br>ファイターズ                   |
| 【北大ディスカバリー ～獣医学の最前線へ～】<br>「ラボ見学」「最新の研究紹介」を見て聞いて触れて、獣医学の最前線をディスカバリーしてみよう。                                                                 | 北海道大学<br>獣医学部                    |
| 【はこだてスタディツアー】 <1日目> ※(1)か(2)を選んで参加<br>(1)【はこだて未来大学 プロジェクト学習成果発表会】<br>大学生の研究発表会に参加するコース<br>(2)【北大ディスカバリー ～水産学部～】<br>水産学部の研究室紹介とミニ実験を行うコース | はこだて未来大学                         |
| <2日目><br>【サイエンス教育フォーラム in はこだて】 ※全員参加<br>高校生・高専生が参加する研究成果発表会                                                                             | 北海道大学<br>水産学部                    |
| 【スポーツマーケティング】<br>マーケティング戦略を学び、アイデアの提案と実践を行う。                                                                                             | アルテミス北海道<br>(予定)                 |
| 【小学生に科学教室を】<br>ジュニアプログラミングワールドでの小学生向け科学実験教室。                                                                                             | NPO法人<br>NEXTDAY                 |
| 【野生生物 駆除 vs 保護】<br>トドをテーマに、野生動物の駆除と保護のバランスについて双方の立場から考えます。                                                                               | おたる水族館<br>酪農学園大学                 |
| 【半導体がひらく日本の未来】<br>「半導体産業」「半導体の理論」について学び、ワークショップを行ってグループワークを行います。                                                                         | 東京エレクトロン<br>千歳科学技術大学<br>札幌市経済観光局 |



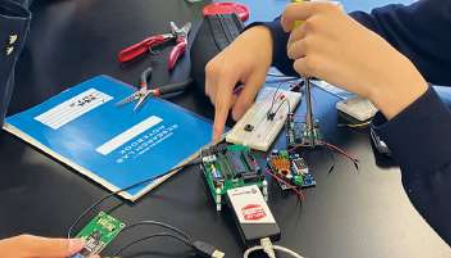
本格的な探究活動

■SDS探究（2年次）

本格的な探究活動は2年次に行います。北海道大学、はこだて未来大学、酪農学園大学、北海道博物館などの専門家からアドバイスを頂しながら、各班が研究しています。



「牛乳から生分解性プラスチックを作る」



「気象観測装置の研究」



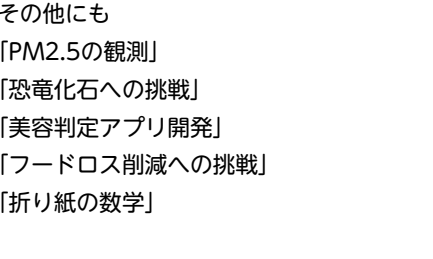
「AIで音楽をつくる」



「ヒグマの出没予測とハザードマップづくり」



「アイヌ語をデータサイエンスする」



その他にも  
「PM2.5の観測」  
「恐竜化石への挑戦」  
「美容判定アプリ開発」  
「フードロス削減への挑戦」  
「折り紙の数学」

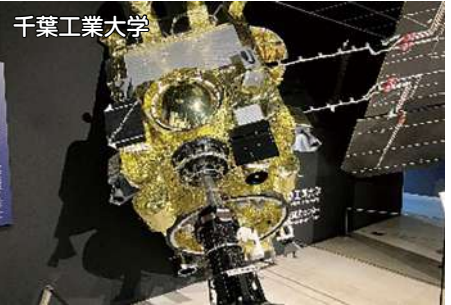
など多彩な内容で研究を進めています。

数理DS科のゼミ旅行（修学旅行）

【実施】2年次10月・3泊4日／【行き先】2026年度より数理DS科は関東方面へ行きます  
～現在検討中の訪問先です～



見どころ満点、科学の殿堂



未来ロボットと宇宙開発



デジタルを融合させた没入体験型の美術館



♠ 自主研修の時間もたっぷりあるよ ♠  
科学・歴史・文化・芸術・食などを研修するツアーを自分達でつくろう！



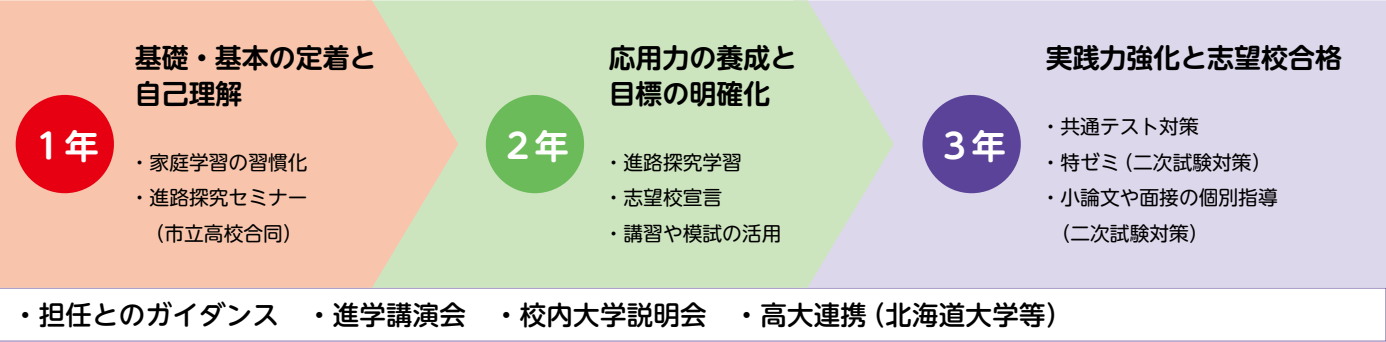
スカイツリー  
塔体ツアー  
高さ日本一の建造物の構造を学ぶ

# 進路支援プログラム

## 主体性を育む「進路支援プログラム」と「確かな実績」

一人ひとりの「進路実現」をきめ細かな体制でバックアップします。本校では「進学重視型」単位制高校として教科・年次が連携し、生徒が主体的に学習に取り組める環境を整えています。

### ■3か年の流れ



### ■講習・模試

自身の習得度や課題を把握し、次の学習へ役立てるため、定期的に講習や模擬試験を実施しています。



### ■主な大学の合格者数

過去5カ年（2021～2025年）の難関大学合格者数は以下の通りです。

#### 【国公立大学】

|         |     |        |    |        |    |       |    |          |    |
|---------|-----|--------|----|--------|----|-------|----|----------|----|
| 北海道大学   | 149 | 京都大学   | 2  | 大阪大学   | 11 | 名古屋大学 | 1  | 東北大学     | 13 |
| 九州大学    | 3   | 一橋大学   | 1  | 神戸大学   | 3  | 筑波大学  | 5  | お茶の水女子大学 | 1  |
| 東京外国語大学 | 1   | 東京都立大学 | 11 | 東京芸術大学 | 2  | 千葉大学  | 12 | 横浜国立大学   | 5  |
| 札幌医科大学  | 31  | 旭川医科大学 | 6  |        |    |       |    |          |    |

#### 【私立大学】

|       |    |        |    |       |    |       |    |        |    |
|-------|----|--------|----|-------|----|-------|----|--------|----|
| 早稲田大学 | 9  | 慶応義塾大学 | 18 | 上智大学  | 2  | 明治大学  | 37 | 青山学院大学 | 18 |
| 立教大学  | 45 | 中央大学   | 57 | 法政大学  | 79 | 学習院大学 | 5  | 東京理科大学 | 31 |
| 関西大学  | 21 | 関西学院大学 | 16 | 同志社大学 | 21 | 立命館大学 | 35 |        |    |

## 一歩先を行く、進路探究「学問研究会」

「大学って何を勉強するところ？」その答えを、旭丘では本物の講義で体感します。毎年、全国各地から約20もの大学から先生方が集結する『学問研究会』は、本校が誇る自慢のプログラムです。大学の講義を体験し、最先端の研究に直接触れることで、「もっと知りたい！」という好奇心が動き出します。単なる「大学選び」を超えて、あなただけの「一生ものの学び」をここで見つけませんか。

**生物学：村上 貴弘 教授**  
（岡山理科大学）  
テーマ：アリ語で寝言を言った後

**工学：大沼 正人 教授**  
（北海道大学）  
テーマ：混ざり方のサイエンス～「かたいもの」から「やわらかいもの」まで～

**経営学：木村 有里 教授**  
（中央大学）  
テーマ：国際経営論：異文化マネジメントを学ぼう

**心理学：古村 健太郎 准教授**  
（弘前大学）  
テーマ：推しに願いを一方通行の関係性がもたらす安寧と焦燥

**人文学：Michelle La Fay教授**  
（北海道大学）  
テーマ：Connections！私たちと過去との関係

**材料工学：城戸 淳二卓越 研究教授**  
（山形大学）  
テーマ：“ありえない”を“現実”にした話～有機EL開発の舞台裏～

### 生徒の声

**2年**

ずっと興味があった歴史学。実際の大学の講義を受けて、『この学問を一生探究したい！』と意欲が爆発しました。自分の進むべき道がはっきり見えました！

**1年**

心理学ってこんなに幅広いんだ！と驚きの連続。大学を『偏差値だけで選ばない』という意味が、講義を受けて初めて実感できました。2時間じゃ全然足りないです！

**1年**

なんとなく選んだ工学の講座でしたが、先生のお話が面白すぎて、**今までノーマークだった分野に一気に引き込まれました。** 旭丘に来て本当によかった！

**2年**

最先端の研究をしている先生は本当にかっこいい。『あの研究室に入りたい』という目標ができたので、今日から受験勉強のギアを一段上げられそうです。

# 部活動・外局活動

## 〈体育系〉

### 男子バスケットボール部

高校生らしく、ひたむきに努力し、札幌市ベスト8、全道大会出場を目標に活動中！

### 女子バスケットボール部

全道進出を目標に、仲間と日々切磋琢磨して練習に励んでいます。



### 男子バレーボール部

「応援されるチーム」を目指し、日々活動しています。大会では全道出場を目標として練習しています。



### 女子バレーボール部

ベスト16を目標に日々練習に取り組んでいます。初心者も経験者も大歓迎です！



### 男子バドミントン部

私たちは何事にも真剣に取り組み、利他の精神で日々を過ごすべく毎日を大切にします。

### 女子バドミントン部

個々の目標に加え、団体では2部昇格を目指し日々一生懸命活動しています！



### 陸上競技部

全員で切磋琢磨し、全道大会入賞・全国大会出場を目指して日々練習しています。



### スキー部

夏は登山とトレーニングで足腰を鍛え、冬は夏の成果を発揮して基礎スキーに励んでいます。



### 野球部

昨年の選手権大会は全校応援の力もあり、16年ぶりに全道大会に出場。今年も頑張ります。



### サッカー部

全道大会出場を目標として、部員全員で楽しく活動しています。



### 男子テニス部

少ない部員ですが全道出場を目指して楽しく、全力で練習しています！

### 女子テニス部

全道大会ベスト4を目指して日々練習に取り組んでいます。テニスコートで待っています！



### ソフトテニス部

私たちの部活は男女ともに団体戦全道大会入賞を目指して練習しています！

### 卓球部

初心者から経験者まで切磋琢磨しながら全道大会を目指し、練習に取り組んでいます。

### 弓道部

大会に向けて、日々努力しています！高体連と新人戦では全道大会まで行きました！



### 剣道部

初心者も経験者も大歓迎！武道はカッコいいです。ぜひ見学来てください。



### チアリーディング部

目標は全国、準決勝進出！全員で心を一つに練習中。最高の演技で、笑顔と勇気を届けます！



## 〈文化系〉

### 合唱部

練習週3回！全国大会常連校！目指せ全国金賞！是非一緒に歌いませんか！？



### 美術部

週4回月～木18時まで。自由気ままに活動しています！



### 華道部

初心者大歓迎です！お花・生け花に興味がある方は、ぜひ入部をお待ちしています。



### 茶道部

初心者大歓迎！高校から始めた人がほとんどで、楽しくお作法を学んでいます。

### 書道部

学校祭ではパフォーマンスも披露します。兼部・初心者大歓迎です。



### サイエンス部

生物班・ロケット班・地学班に分かれ、全国大会や世界大会を目指して日々活動しています！



### 写真部

大会の時期を中心に不定期で自由に活動中！貸出用のカメラもあります！初心者大歓迎！



### 文芸部

文芸部誌を作成し、学校祭で配布をしたり、大会へ提出したりしています。



### 創画部

普段皆でほっこりと雑談しながらイラストを制作しています。絵が苦手な人も大歓迎！



### 弁論部

書く力、話す力を磨き、大会入賞を目標に活動しています。兼部、初めての人も是非！



### ボランティア同好会

興味のある方は誰でも大歓迎！地域ボランティアをしています。不定期活動です！



### ICC国際交流局

ディベート、スピーチ、会話、映画、ゲームなど様々な活動で英語力を向上させます！



### 放送局

初心者大歓迎！声や機材、ものづくりが大好きな仲間と番組制作で大会を目指しませんか？



### 新聞局

責任感や行動力、多角的な視点などの力が身につきます。学校外へ取材に行くなど貴重な体験も！



### 図書局

カウンター業務、図書館報発行などエアコンの効いた図書館で活動しています！



### メディア局

なんかやりたいけど合いそうな部活がない……。そんなあなたに！メディア局！！



### 創案部

大会や外部でのライブ、定期演奏会、学校祭の発表等を目標に各バンド活動しています。



## 令和7年度 全国大会出場実績

- ★陸上競技部
  - ・全国高等学校陸上競技対校選手権大会
- ★チアリーディング部
  - ・JOCジュニアオリンピックカップ大会
  - ・JAPAN CUP2025日本選手権大会
- ★合唱部
  - ・全国高等学校総合文化祭
- ★華道部
  - ・全国高校生花いけバトル全国大会
- ★サイエンス部
  - ・全国高等学校総合文化祭 自然科学部門ポスター発表
- ★メディア局
  - ・高校生ICT Conference 2025 東京サミット
  - ・全国高等学校AIアスリート選手権大会 シングularityバトルクエスト2025
- ★弁論部
  - ・文部科学大臣杯全国青年弁論大会
- ★放送局
  - ・NHK杯全国高校放送コンテスト
  - ・全国高等学校総合文化祭
- ★新聞局
  - ・全国高等学校総合文化祭
- ★図書局
  - ・第44回図書館報コンクール

何ができるようになるか

# 卒業生の言葉

柴田 麻桜さん 令和7年3月卒業 北海道大学 文学部 在学

私が旭丘高校での学びの中で、大学生活にも通ずると感じたものを二つ紹介します。まずは、総合的な探究の時間です。この授業での1、2年次で各自が研究をして4000字程度の論文を書いて発表をするという経験は、自ら問いを立てる大学の学びに近く、レポートやプレゼンの練習にもなりました。次に、単位制カリキュラムです。大学受験は受験スタイルが多様です。志望校に合わせて講義系や演習系の授業を選択できる点が他校にない旭丘の強みだと思います。

旭丘の魅力は他にも多くあります。学内の大きな窓から見える綺麗な景色には何度も驚きました。文化祭も模擬店やキッチンカー、ステージ発表に花火、と思いが沢山できると思います。多くの卒業生が旭丘の生活を全力で楽しみ、受験も全力で挑んできました。是非、旭丘高校に興味を持っている皆さんにも同じ旭丘の景色を見て頂きたいです。



佐藤 彰さん 令和6年3月卒業 北海道大学 総合理系 在学

私は、旭丘高校で、充実した高校生活を過ごすことができました。旭丘は単位制の学校で、1年次のときに2年次以降の時間割を自分で作るようになります。そのため、早い時期から自分の志望校に必要な科目を自分で調べることで、受験への意識を高めることができ、自分で計画しながら勉強する力が付きました。さらに、勉強に熱心な人が多いので、友達と競い合い教え合ったりすることで楽しく勉強することができました。職員室は廊下と繋がっていてとても開放的で、授業でわからないところがあれば遠慮なく質問しに行っていました。他にも普段の生活での悩みや不安なども気軽に相談できるので、旭丘の職員室はいつも活気にあふれています。

また、旭丘高校は行事も盛んで、特にガオカ祭や体育祭、ゼミ旅行はとても楽しく、最高の思い出を作ることができます。私は市外から通っていて、登校するのに100分以上かかっていましたが、所属していたバドミントン部の活動や日常生活、学校行事がとても楽しかったので3年間通い続ける事が出来ました。また、旭丘高校では授業や学校行事で多くの人と関わることができるので、人としても大きく成長することができます。皆さんも旭丘高校に入学し、充実した高校生活を過ごしてみませんか？



田中 利玖さん 令和8年3月卒業 札幌医科大学 医学部 在学

僕の旭丘高校での一番の思い出は弓道部での活動です。部活動は自分の実力を高めることも一つの楽しみですが、自分は何より長い時間を共有する友人が居たというのが振り返ってすごく良かったなと思います。部活動で一緒にいる以外にも、休日に遊んだり、空き教室で遊んだり、引退後受験勉強で精神的に大変だった時に支えになってくれました。また、僕は入学時全く進学のことを考えていなかったのですが、自分の進路を考える機会が多くあり、同期のみんなが真剣に勉強しているのを見て自分も進路の実現に全力で取り組むようになりました。ゆっくりした時間を過ごせて、進路実現に一生懸命になれるこの高校で、皆さんにぜひ高校生活を楽しんで欲しいなと願っています！



田邊 一誠さん 令和7年3月卒業 大阪大学 医学部保健学科看護学専攻 在学

旭丘高校は非常に大学進学を意識した高校であったのだということに、大学に入学してから気づきました。単位制により自らの関心や進路に応じて科目を選択する経験は、大学での履修計画や主体的な学びに直結しています。また、2年次に行われるゼミ論文の執筆では、自ら問いを立て、資料を集め、考察を深めて文章にまとめるということをします。その過程は、まさに大学のレポートや卒論で求められる力の育成そのものだと思います。さらに教室番号すら、大学の講義室番号と同じシステムです。旭丘高校はまるで大学です。そんな旭丘高校ならではの学びを、あなたも体験しませんか？



## 数理データサイエンス科

坂田 悠真さん 令和7年3月卒業 慶應義塾大学 環境情報学部 在学

数理DS科は、2クラスと少ない分一体感が生まれ、様々な行事を団結して全力で楽しむことができます。これは日常生活や学習においても大きな利点です。また僕は旭丘高校がSSH認定校であることを活かし、台湾研修や神戸での研究発表会など、価値ある体験や経験を沢山積ませていただきました。これらは実際AO入試の受験に活きましたし、今後のキャリアパス全体に寄与していると思っています。沢山チャレンジしてみたい、高校生活の青春を謳歌したい方には自信をもってお勧めできます。是非、旭丘高校・数理DS科への進学を考えてみてください！



松永 理杏さん 令和8年3月卒業 九州大学 農学部 生物資源環境学科 在学

私が卒業した数理データサイエンス科では、多くの国内外での研修に参加し、貴重な経験を積むことができます。私は神戸・タイ・台湾での研修に参加しました。国内の研修では、様々な分野の最先端の研究を学び、興味の幅が広がりました。また、海外の研修では英語で研究発表を行ったり多くの人と交流したりする中で、英語でのコミュニケーション力を伸ばすことができました。そして、これらの研修で身に付けたことは総合型選抜やその後の大学生活に大いに活かしています。高校生活で様々なことに挑戦してみたい方、充実した高校生活を送りたい方は、ぜひ数理データサイエンス科への進学を検討してみてください！



神宮寺 華さん 令和6年3月卒業 東京学芸大学 教育学部 A類国際教育選修 在学

大学では、履修登録を全て一から自分で行い、テストやレポート提出の情報も自分で確認する必要があります。高校生活で培った自主自立の精神は、大学生活で大いに役立っています。

また、旭丘高校の廊下とつながっている開放的な職員室は、職員室の入りにくい雰囲気をは拭してくれる素晴らしいものだったと思います。勉強で困った時には、気軽に職員室に入って質問することができますし、先生方も快く対応してくださりました。大学受験においては、科目のサポートだけでなく、面接や小論文の指導をしてくださり、そのおかげで私は第一志望の大学に合格できたのだと思います。

旭丘高校は、学習面でのサポートの手厚さはもちろん、設備も綺麗で、学校祭や体育祭といった行事も大変楽しく、充実した毎日を送れる場所です。これから入学する皆さんが毎日楽しく過ごせることを願っています。



松下 征樹さん 令和8年3月卒業 東京藝術大学 音楽学部 器楽科・器楽専攻 在学

私は当初から藝大を目指していましたが、音楽だけでなく理系分野にも興味があり、2年次まで理系科目を中心に学んでいました。ガオカは単位制のため、自分の関心や目標に合わせて柔軟に授業を選択できる点が大きな魅力です。幅広い分野に触れながら学びを深めることができた経験は、自分の視野を広げる大きなきっかけとなりました。3年次からは音大受験に合わせた授業を選択し、無理なく進路に沿った学びへと切り替えることができました。部活動には所属していませんでしたが、自分の時間を有効に使い、日々の練習に集中することができました。普通科に在籍しながら藝大に合格できた経験は、ガオカの学びの強みと環境の良さを実感するものとなりました。ぜひ自分の可能性を広げ、挑戦してほしいです。



ガオカ生の1年

4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
1  
2  
3

- 入学式・始業式・対面式  
宿泊研修・健康診断
- 生徒総会・高体連大会
- 第1回定期試験・開校記念日
- 旭丘祭・夏休み・夏季講習
- 生徒会選挙・夏休み
- 第2回定期試験・高文連大会  
前期終業式・秋休み
- 後期始業式・ゼミ旅行  
生徒総会
- 第3回定期試験・学問研究会
- 冬休み・冬季講習・点灯式
- 冬休み・共通テスト  
特ゼミ(二次・私大対策)
- ST・SDS・SSH研究発表会  
第4回定期試験
- 卒業式・体育大会・修了式  
春休み・春季講習



「旭丘生になろう」をスローガンに1泊2日の研修を行います。ここで仲を深めて高校生活が始まります。



旭丘祭は文化祭パートと体育祭パートに分かれています。生徒が主体となり企画・運営をすることが魅力のひとつです。



2年次のゼミ旅行では全体研修の他に自主研修・ゼミ別研修が行われます。3泊4日で関東方面か関西方面へ旅行します。



ST・SDSはガオカ独自のプログラムです。自分の興味に沿って研究することができます。研究の集大成として発表会も行われます。



日課表

|     | 通常日課(50分授業)   | 短縮日課(45分授業)   |
|-----|---------------|---------------|
| SHR | 8:30 ~ 8:35   | 8:30 ~ 8:35   |
| 1校時 | 8:40 ~ 9:30   | 8:40 ~ 9:25   |
| 2校時 | 9:40 ~ 10:30  | 9:35 ~ 10:20  |
| 3校時 | 10:40 ~ 11:30 | 10:30 ~ 11:15 |
| 4校時 | 11:40 ~ 12:30 | 11:25 ~ 12:10 |
| 昼休み | 12:30 ~ 13:10 | 12:10 ~ 12:50 |
| 5校時 | 13:10 ~ 14:00 | 12:50 ~ 13:35 |
| 6校時 | 14:10 ~ 15:00 | 13:45 ~ 14:30 |
| 7校時 | 15:10 ~ 16:00 | 14:40 ~ 15:25 |
| SHR | 16:00 ~ 16:05 | 15:25 ~ 15:30 |

校内施設 (一部)

図書館



約3万6000冊の蔵書を誇るガオカの図書館。エアコンも完備され、読書にも勉強にも最適な環境が整っています。

ラウンジ



昼食や自習に使用することができます。学年ごとに割り当てられていて、個人ロッカーも設置してあります。

制服



TPOや季節に合わせて自由に選択できる唯一無二の制服！

ピロティ (屋内運動場)



雨天時の体育の授業や、体育系部活動が練習に使用します。体育館の水飲み場付近にピロティへ向かう階段があります。

講 堂



体育館より一回り小さく、体育の授業や年次集会で使用します。また、卓球部とチアリーディング部の活動場所です。

# Q&A

**Q** 単位制と学年制は、どのように違うのでしょうか？

**A** 下の表で比較していただくとよくわかると思います。

|                     | 単 位 制                                                     | 学 年 制                                              |
|---------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 教 育 課 程<br>(カリキュラム) | ・自分で選択した科目を学ぶ。・希望進路に、より細かく対応できる。<br>・異なる年次の生徒と一緒に学ぶことがある。 | ・学年で決められた科目を学ぶ。・コースや一部の科目は選択できる。<br>・同じ学年の生徒だけで学ぶ。 |
| 時 間 割               | ひとりひとり異なる時間割である。                                          | ほとんど同一の時間割である。                                     |
| 授 業                 | 科目ごとに異なる教室へ移動して受けることが多い。                                  | 自分の教室で受けることが多い。                                    |
| 進級・卒業               | 進級という考え方はなく卒業までに必要な単位を修得すれば卒業できる。                         | 修得できない科目があると進級・卒業はできない。                            |

**Q** 授業のある時間に合わせて登校したりすることはできるのでしょうか。

**A** 落ち着いた学校生活を過ごすために、登校時間帯および下校時間帯は指定されています。登下校時の事故などに迅速に対応するため、事情により遅刻あるいは早退する場合、生徒はガイダンス担任・ゼミ担任の確認を受けて入室もしくは下校となります。欠席する場合も、できるだけ速やかにガイダンス担任やゼミ担任に連絡してください。

**Q** たくさんの選択科目があるそうですが、自分でうまく選べるのでしょうか？

**A** 大丈夫です。入学後は、将来を見通した進路設計のために、キャリアガイダンスを行います。また、科目選択については、年間を通じて生徒一人ひとりに、自分自身の生き方と将来の希望進路の探究を通して、具体的なアドバイスをしながら進めていきます。ガイダンス担任やゼミ担任、そして進路支援の先生も相談にのってくれますから、先生方と一緒に考えていけば良いので安心して下さい。

**Q** 自分で選んだ科目で卒業できるのでしょうか？  
また1・2年次にたくさんの単位を取って、2年間で卒業することは可能でしょうか？

**A** 選択した科目については「受講登録届」を提出してもらいます。卒業できる選び方になっているかどうかを、よく確認してから受け付けますので心配いりません。選択した科目をしっかり勉強していれば、卒業は大丈夫です。また、1・2年次に受けられるだけのすべての授業を受けても、卒業するのに必要な単位数は取れません。3年間の在学期間が必要です。

**Q** 進路状況はどのようなのでしょうか？

**A** 現在、かなり多くの生徒が進学を希望していて、3年間の努力の結果多くの生徒が進路希望をかなえています。主体的な科目選択ができる単位制により、いっそう皆さんの希望進路が実現すると確信しています。

**Q** 経費はいくらかかるのでしょうか？

**A** 入学料および学校徴収金は、合計で1年次は年間およそ11万円です。それ以外に制服、体育ジャージ、室内運動靴、教科書および副教材などの購入で11万円程度かかります。2年次に行われるゼミ旅行の経費(12万円程度)も別途納入していただきます。なお、授業料(年間12万円程度)については、一定額以上の収入のある家庭以外は負担がありません。これについては、入学時にお知らせいたします。

# 中学生のための学校説明会

2027年度入学生は  
**70**期生になります

**日 時** 令和8年9月26日<sup>土</sup>

第1部 13:15 ~  
第2部 14:45 ~ ※第1部と第2部の内容は同じです。

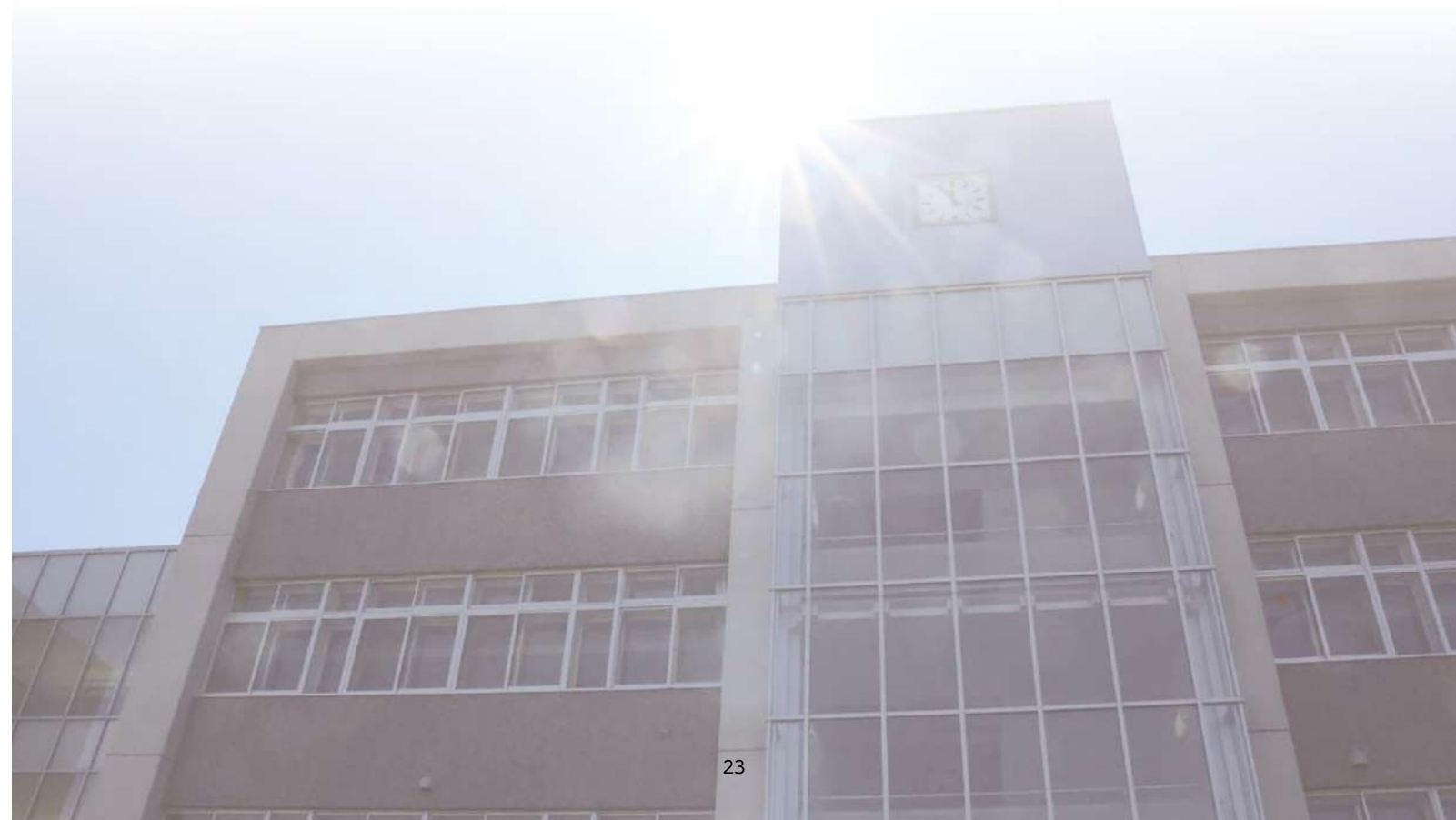
**場 所** 普通科● 体育館(定員800名予定)  
数理データサイエンス科● 講堂(定員300名予定)

**内 容** カリキュラム・入試・進路状況・生徒による探究活動成果発表  
SSH研修発表 など

**お申込み方 法** 本校ホームページの受付フォーム

**お申込み期 間** 7月21日(火) 10:00 ~ 8月24日(月) 16:00

担当：副校長 小泉／教頭 長澤  
※各部とも申込み受付順とさせていただきます。  
※当日は上靴と、外靴を入れる袋をご持参ください。





(表紙・裏表紙撮影：写真部)



## 市立札幌旭丘高等学校

<https://www.asahigaoka-h.sapporo-c.ed.jp/>

〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号

TEL : (011) 561-1221 FAX : (011) 561-1061



## ACCESS

市立札幌旭丘高等学校へのアクセス

